

# リメディアル教育

課外の個別学習で

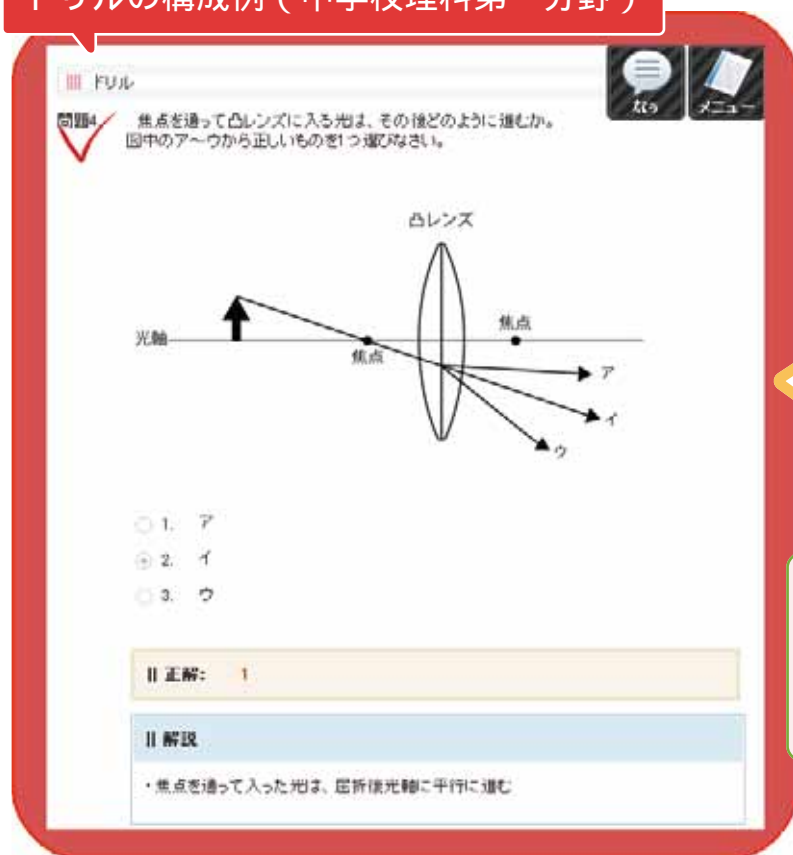
**数理社**ドリル

## 基礎編

### 学ぶ

ということの意義や意味が理解できる時に、大学という新しい学びの場に新しい気持ちで進学する時に、今一度、義務教育で学んだことを振り返ることは、小学校・中学校時代の自分を客観的に見直すことになるとともに、学んできた意味を再確認できます。高等学校時代の学びは、大学進学や社会にでるための学びですが、義務教育での学びは、どんな分野に進もうとも、社会で生きていくための基本的な内容を学んでいます。

### ドリルの構成例（中学校理科第一分野）



物理・光と音（1）

物理・光と音（2）

物理・力と圧力（1）

物理・力と圧力（2）

物理・力と圧力（3）

物理・電流

物理・電流と磁界

物理・運動の規則性

物理・力学的エネルギー（1）

物理・力学的エネルギー（2）

化学・物質のすがた

化学・水溶液

化学・状態変化

→ 各小分類項目から1問ずつ1回のドリルで合計20問出題される

→ 未提出、誤答の問題が優先して出題される

→ ドリルは5回から10回程度くりかえし挑戦する

化学・酸・アルカリとイオン（1）

化学・酸・アルカリとイオン（2）

## ドリル問題一覧

このほか、「リメディアル教育（専門編）高等学校化学」があります

カテゴリ	ドリル名	内容	備考
算数・数学	小学校算数文章題	3年生から6年生までを20項目に分類	各項目ごとに5問 (計750問)
	中学校数学	1年生から3年生までを20項目に分類	
理科	小学校理科	3年生から6年生までを20項目に分類	
	中学校理科第一分野	物理、化学分野を20項目に分類	
	中学校理科第二分野	生物、地学分野を20項目に分類	
社会	小学校社会科	3年生から6年生までを20項目に分類	
	中学校社会科	地理、歴史、公民分野を30項目に分類	



- 1 お試しテストでドリルの全容と現時点での力を把握する。
- 2 繰り返しドリルに挑戦する。  
(一問ずつ出題されるのでスマートフォンなどで電車の中でも使用できます)
- 3 仕上げテストで学習効果を確認する。

★ 質問板を設けています。質問や学習者同士のコミュニケーションに活用できます。

## ここに留意してつくりました！ ドリル問題

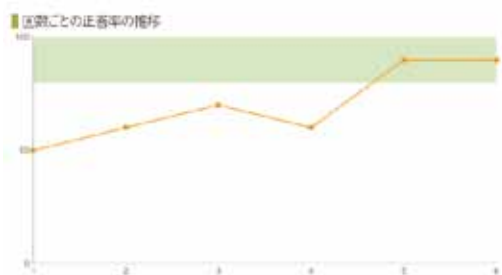
- ◆ 基礎的な内容を問う素直な問題構成にしています。
- ◆ 一部分でも理解しておれば正解になるように誘導しています。
- ◆ 単に覚えているかどうかではなく学べるように工夫しています。
- ◆ 問題文を読むだけでも参考になるように付加価値をつけています。
- ◆ 暗記による知識でなく全体像を問う問題を多く含んでいます。
- ◆ 各小項目ごとに5問しかありませんが基本的な内容を網羅しています。

## ドリルシステムの提供方法

このドリルを利用するには、弊社が開発した「レクチャーエイド2」のドリルシステムが必要です。詳しくはご相談ください。

## フィードバック

### 回数ごとの正答率の推移



### 分類別正答率

化学分野	正答率 (%)
物質のすかた	80
水溶液	100
状態変化	90
物質の成り立ち	80
化学変化	80
化学変化と物質の質量	80
水溶液とイオン(1)	90
水溶液とイオン(2)	90
酸・アルカリとイオン(1)	80
酸・アルカリとイオン(2)	100

大学生になって気持ちを一新して再スタートをしようと思う気持ちは大切ですが、教育は継続しており、積み重ねの上に成り立っています。特に、国語や英語は受験においても大切な科目として大事にされていますが、算数・数学や理科、社会は受験に関係なければ、見過ごされてしまっています。実はこの3科目にも、生きていくためには必要不可欠な基礎・基本が多く含まれています。

大学の授業の中で義務教育時代の9年間を振り返ることは現実には不可能ですが、このリメディアル教育(基礎編)数理社ドリルには、義務教育時代の9年間が凝縮されています。インターネットを介してタブレット端末でも利用できる課外の個別学習形式になっていますので、入学前の教育に、初年次の教育にご活用願えたらと思っています。また、教育学部などの先生を目指している学生さんのスタートとしても有意義だと考えています。

## デモ版